

美術Ⅱ

教科	芸術科	単位数	2	学科・学年	全科 3年（選択）
使用教科書	高校生の美術2（日本文教出版）			副教材等	配布プリント 等

「美術Ⅱ」はどんな科目？

- ・美術Ⅰで身に付けた創造的な表現と基礎基本を踏まえた技能、鑑賞の能力をさらに伸ばします。
- ・美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高めます。

「美術Ⅱ」の学習の特徴は？

- ・数多い表現の分野から2分野程度に絞り、時間をかけてじっくり作品と向き合い制作します。
- ・制作と鑑賞を通じ、自らの芸術観を育てます。

「美術Ⅱ」で大切なこと（留意点）は？

- ・心の目を養い、モノや事象の本質を理解することを心がけること。
- ・美しいモノ、独創的な作品をみたり触れたりしながら、自分らしさを発見し、自分らしい表現を根気よく楽しみながら追求していくこと。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
1 学期	4	オリエンテーション	・教科書の図版や資料等を基に、一年間の学習の計画をたてる。
	5	【A表現、絵画】 身近にあるものを描く ・静物を描く ＜中間考査＞	・観て気づき、知り、感じることの大切さを知る。 ・鉛筆、消しゴムの活用。表現技法を工夫して表現をする。
	6	・組み合わせられたものを描く	・モノの組み合わせ、構図、トリミングを理解する。 ・遠近法を把握し、空間の表現について理解する。
2 学期	7	＜期末考査＞ 【B鑑賞】 日本と西洋の表現法の特徴を知る。 ・対象のとらえ方と表現、芸術観	・日本の作品と西洋の作品について、視点を決めて鑑賞し、お互いの特徴について理解する。 ・画材 ・画面構成 ・表現の特徴
	8	【A表現、デザイン】 メッセージを伝えるポスターの制作	・身近に存在する問題を取り上げ、テーマとする。 ・キャッチコピーを考える。
	9	・メッセージを伝えるために必要なこと不要なことを考える。	・伝達に適した画面構成について考え理解する。
	10	＜中間考査＞	・校内に飾り、鑑賞者に意見を聞く。
	11	【A表現、絵画】 静物画 ・水彩画 ＜期末考査＞	・画面のトリミング、構成を考える。 ・下描きの描き込みや質感に合わせた絵具の水分量、描画の手順、筆遣いを理解する。
	12		

3 学 期	1	【A表現、絵画】 自分の顔を描く	<ul style="list-style-type: none"> 自分の顔をよく観察し、目、鼻、口など各パーツ毎に細密描写する。 全てのパーツがそろったところでそれぞれを切り離し、コラージュによる自分の顔モンタージュをおこない、顔の再発見をする。
	2	一年間の反省	<ul style="list-style-type: none"> 一年間を振り返りつつ今後につなげる。
	3	<学年末考查>	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

美術への 関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 レポート 観察（授業準備・態度）
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	<ul style="list-style-type: none"> 作品 アイデアスケッチ 下書き 観察（制作プロセス）
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	<ul style="list-style-type: none"> 作品 観察（制作プロセス）
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうとともに、言葉で伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> レポート 観察（態度） 質疑応答

※作品を全て提出していることが修得の条件です。

1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

- 自分が思ったように描ける表現能力として、デッサンの力を付けることは必要ですが、モノをよく観たり感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりすることを通して、自分の世界観を築き上げ、世界にただ一つしかない自分らしい表現をすることが大切です。そこに価値があります。より美しいものを見たり触れたりしながらいろいろな表現手段があることを学び、試行錯誤を繰り返しながら表現の追求をしてください。
- 作品と向き合い、根気をもってねばりよく制作することにより、きっと良い作品が生まれ、達成感、満足感が得られるはずです。
- 美術の授業で大切なことは、自分の思いや願いを形や色で思ったように表すことや、自ら進んで作品鑑賞することを通して美術が好きになり、豊かな心や感性を育てることです。